



振盪後 4℃18時間または常温 4時間静置											
赤血球浮遊液	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
判定例	振盪後 常温 1時間静置										
HI価 20倍未満	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕
	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
2560倍	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) HI反応使用抗原量の確認術式 (抗原の二次定量)

ホール番号	1	2	3	4	5	6	7	8
抗原単位	8	4	2	1	1/2	1/4	1/8	血球対照
P B S	-	0.05mL	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
使用抗原	0.05mL	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
P B S	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
振盪後 4℃18時間または常温 4時間静置								
赤血球浮遊液	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
判定例	振盪後 常温 1時間静置							
	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕
	+	+	+	+	-	-	-	-

上例は抗原量が8単位で正確に使われたことを示す。

(4) 判定

HI価は完全に血球凝集を抑制した血清の最高希釈倍数であらわす。

判定にあたっては次の点に注意すること。

- 1) 血球対照及び血清対照が凝集像を示さないこと。
- 2) 指示血清のHI価が規定の値を示すこと。
- 3) 使用抗原が8単位であること。

使用上の注意

【一般的注意】

- (1) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (2) 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。

【使用時の注意】

- (1) 豚パルボウイルスHA抗原のHA価は鶏、ヒナの個体により著しく異なるので、表示されている程度のHA価を示す血球を使用すること。
- (2) 抗原、血清及び鶏赤血球浮遊液の希釈に用いる希釈液は、pHを6.8~7.2に調整したリン酸緩衝食塩液を用いること。
- (3) 血球添加後の温度が規定温度より変動すると反応に影響することがあるので、HA及びHI反応は必ず所定の温度で行うこと。
- (4) 血球添加後はミキサーで振盪し十分混和すること。
- (5) 血球濃度によりHA価が変動するため、血球濃度は正確に調整すること。
- (6) 使用する血球は新鮮なものをを用いること。使用前に生理食塩液で十分に洗浄すること。
- (7) カオリン処理する時の25w/v%カオリン液はpH7.2になるように必ずpHの修正を行うこと。
- (8) 指示血清は、カオリン処理及び血球吸収処理後非働化して用いること。
- (9) 指示陽性血清のHI抗体価は80倍、指示陰性血清のHI抗体価は20倍未満なので、これらのHI抗体価が著しく異なった場合は再試験を行うこと。
- (10) 本剤は同一製造番号の試薬を用いた場合に、正確な結果が得られるように調整されているので、使用に先立って必ず各構成品の製造番号を確認すること。また、他の製造番号の診断試薬と組み合わせて使用しないこと。

【取扱い上の注意】

- (1) 乾燥抗原及び指示血清瓶内は、真空になっており破裂をしておそれがあるので、強い衝撃を与えないこと。
- (2) ガラス瓶の開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので注意すること。
- (3) 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- (4) 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
- (5) 一度開封した抗原及び指示血清は速やかに使用すること。使い残りの抗原及び指示血清は雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。
- (6) 使用済みの瓶は、地方公共団体条例等に従って処分すること。

【保管上の注意】

- (1) 小児の手の届かないところに保管すること。
- (2) 直射日光、加温又は凍結は、本剤の品質に影響を与えるので避けること。

【貯法及び有効期間】

- 1 遮光して、2~10℃に保存すること。
- 2 有効期間は2年間 (最終有効年月は外箱及びラベルに表示)

【包装】

- 1セット 20検体分 (乾燥指示陽性血清、乾燥指示陰性血清添付)



製造販売元  
 株式会社微生物化学研究所  
 京都府宇治市檜島町24、16番地  
 TEL: 0774-22-4518 FAX: 0774-24-1407

27050100B  
 P-HA④